

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
会長 荒船 丈一 様

施設名 あすかHOUSE松伏
氏 名 鶴岡 拓人

研 修 会 報 告 書

研修会名	東部地区研修会			
日 時	令和7年11月14日			
会 場	介護老人保健施設 三郷ケアセンター			
講 師	三郷ケアセンター 介護科長 白崎 哲生			
参加人数・定員	参加人数	12 名	募集定員	15 名
研修リーダー 研修メンバー (施設名)	あすかHOUSE松伏 鶴岡 拓人 翔寿苑 椎名 将大 あすかHOUSE松伏 洞下 美咲 かわぐちナーシングホーム 神成 洋平			
研修会のテーマ	『私の施設の取組』施設見学&意見交換会			
研修会の評価	アンケート回収枚数	12 枚	3. グループワーク	#### 0
	1. 研修内容と目的の一致	4.6 5	4. 研修会の進め方	4.6 5
	2. 講義に対する評価	① 5 / 5	～総合評価点～	14 15
		② / 5		
		③ / 5		
		④ / 5		
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修リーダー・メンバーとしての感想等を記述)			
	今年度二回目の研修ということで研修メンバー内で業務分担や情報共有が密に行えており事前準備に関しても問題なく行えた。			
	研修先施設との打ち合わせについても研修リーダーと先方の研修担当者でメールを用いて情報共有が行えた為滞りなく行えた。			
	研修会当日は参加予定者から事前連絡無しでの1名不参加や当初参加予定では無かった1施設から3名の追加参加などの急なトラブルがありましたが、先方の研修担当者からも参加の許可を頂き参加者を増やすことが可能だった。			
	研修内容として研修先の施設の紹介、施設見学、意見交換会で実施。			
	施設の紹介としまして、母体のグループが大きく病院や施設や事業所を多く展開していることから組織力が強みであり、グループ内での異動や連携が図れていることが強みとして挙げられた。また、ワークライフバランスと福利厚生なども母体がしっかりとされているからこそ働き手が安心して働ける環境を用意しているとのことだった。			
	続いて三郷市内には『三郷ケアセンター』以外には老健施設がなく三郷市内での高齢化から顧客獲得の機会が多くあると見込まれるが、特養施設が8施設と多くあることから顧客が流れる懸念はあるとのことを伺い、需要があるものの市内一か所の老健施設へ利用希望者が多くいた場合の受け入れキャパオーバーや利用待機者が他市内の施設へ流れる懸念があるようにも思えた。			
	同施設での職員負担を減らす取り組みとして電子カルテやビジネスチャット導入による職員間の情報共有などの『電子化』で業務負担の軽減や情報の管理をされており、インカムを用いてのハンズフリーによる会話など緊急時手が離せない時などに情報共有が行えるシステムがあることはリスク管理において有効と感じた。			
	意見交換会では事前に参加者からいただいていた内容を元に参加者から意見を伺ったり、講師の方からご意見を伺う形で実施。			
	職員人員不足の問題では、ある施設では介護職の単発アルバイトを雇うなどの対策をされている施設もあり人員不足問題の対応に苦労されているとのことでした。			
	今回の研修会では全体的に施設間で意見交換が多く行われており、参加からも有意義な研修会とのご意見がありました。			

* アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。